

こんな活動です

地域の大人18人をパートナーとして迎え、技術家庭授業3時間「オリジナル本箱づくり」を行なった。

|                    |                       |                |             |                  |   |   |             |   |   |
|--------------------|-----------------------|----------------|-------------|------------------|---|---|-------------|---|---|
| 芦北                 | ●活動名                  |                | ●関係する学校名    |                  |   |   |             |   |   |
|                    | 技術家庭授業3時間「オリジナル本箱づくり」 |                | 水俣市立水俣第一中学校 |                  |   |   |             |   |   |
| 活動区分               | 学びによるまちづくりや地域課題解決型学習  | 地域人材育成         | 郷土学習        |                  |   |   |             |   |   |
|                    | 地域行事への参加・参画           | ボランティア・体験活動    | 学校周辺環境整備    | 外部人材を活用した教育プログラム |   |   |             |   |   |
| 統括的な地域学校協働活動推進員等の数 | 配置人数                  | 地域学校協働活動推進員等の数 | 配置人数        | 学校運営協議会          | 有 | 無 | 企業・NPO等との連携 | 有 | 無 |
|                    | 0人                    |                | 1人          |                  |   |   |             |   |   |

● 活動の概要・特徴や工夫

生徒は自分の作りたいオリジナルな本箱の設計図を持っている。パートナーとして参加した大人は、2～3人の生徒を受け持ち制作に協力した。まず教師から全体的なところと安全への配慮の指導があった。制作に入り、生徒から設計図の説明を受けた。どのようにして制作を行っていくか話し合い、手順を確認した。大人は木工の専門家ではなかったが、知恵と経験があり充分対応できた。溝を作るなど困難な部分もあったが、大人同士で考えを出し合うなどで対応できた。制作過程では、曲尺の使い方、釘の打ち方、鋸の挽き方などを手を取って指導した。生徒と大人が自身の考えを伝え合いながら、制作方法を検討して進めていった。その結果、時間内に全ての生徒が本箱を作り上げることができた。

● 活動の様子



授業の始まりは教師が一斉指導をします。ケガが無いよう気を付けましょう。



いよいよ本箱づくりの始まりです。まず設計図を見て手順を話し合います。



ここはこうやってみてはどうか！



全員がオリジナル本箱を作り上げました。最後の教師の指導です。

● 地域学校協働活動における効果・成果

(子供)自身の作りたい本箱を作ることができた。制作に向かったの工具の選択やその使い方について大人から手を取って教えてもらうことができた。大人と触れ合うよい機会となった。(地域)自身の知恵と経験を子供たちの本箱づくりに活かすことができた。生徒からの求めを受けて、自分も役に立てることを自覚することができた。実は、地域コーディネーターが皆さんにお願いに行ったところ、だれもが「本箱など作ったことがないし、専門家でもない。」と断られたそうだが、説得されて参加したところ、先のような思いで、またこのようなことがあれば「参加したい」と答えられた。(学校(教職員))教師一人ではとても不可能なオリジナル本箱づくりを、地域の皆さんとの協働で予定どおり3時間で成し遂げることができた。このような個別指導が必要な制作場で、たくさんの方の協力があることがありがたかった。これから地域学校協働活動を導入するための有効性が良くわかった。